

12 2025

船井情報科学振興財団
第三回報告書
宮武茉子



はじめに

期末試験終わり！夏休みだー！キャンプ、カヤック、ウィングサーフィン、そしてまたキャンプ、ハイキング。土日はちっちゃな車を走らせて北へ南へカリフォルニアの大自然にどっぷり浸かり、平日はちゃんと研究して論文 2 本 submitted！8 月末の Prelim（進級試験）も無事合格と実り多き夏休みになりました。秋学期は全然違う学科の授業をとってネイティブ英語ディスカッションに圧倒されたり、70 分のゲスト講義を担当したら学生たちがプロジェクトに入ってくれたり、サンフランシスコで一番治安の悪いテnderロインでボランティアを始めてみたり、PhD 2 年目に入って自分の殻を少しずつ破っているところです。



左／Lassen Volcanic National Park の湖で友人夫婦とカヤック。右上／船井財団の大先輩、生駒さんに教えていただきウィングサーフィンに挑戦。右下／日本から持ってきたお気に入りのギアたちでついに憧れのアメリカキャンプ。

博士課程生活

Chipmunk



研究



期末試験後に整えまくったラボデスク
収納。ちょこちょこ自分で設計して 3D
プリントしたパーツも。



OpenCV の生みの親 Gary Bradski。



冒頭に書いた通り、夏休み中に主著一本、共著一本を提出することができました！主著は無事採択通知をいただき、共著の方は結果待ちです。常に締切に間に合わせる夏休みでしたが、論文を連続して書くとなんと論文の型みたいなものが見えてきたような気がします。とはいえ共著だと客観的に見れるので修正点がぱっとわかるのですが、それが自分の論文では気づかないことも多いので、ラボの人たちに見てもらって強み弱みを把握するのは大事だなと実感しています。

また前回 CHI に参加させてもらえなかった代わりに 9 月末の釜山開催の UIST に行ける約束で、とっても楽しみにしていたのですが early bird 期間中に登録したにも関わらず、まさかのチケット完売。またもや学会に参加できませんでした。2020 年から論文を出しているのに毎回何かしらの不運があっただけに HCI 系の国際学会に対面参加できていないので、何者かに呪われているんじゃないかという気がします。もう割り切って、日本帰国後に夫と一緒に釜山旅行しつつ学会に来られた先輩たち友人たちと美味しい韓国グルメを堪能したのでそれはそれで良い思い出になりました。次こそは ... 対面参加するぞ...

11 月には Bay Area Robotics Symposium という学会がスタンフォード開催だったのでラボの人たちと行ってみたら、OpenCV の生みの親 Gary Bradski がいろんなスタートアップ立ち上げ裏話を語っていたり、教授がスタートアップを起業してそこで集めたリアルなデータでロボットに学習させていたり、アントレプレナーシップばちばちの大変バイエリアを感じる会でよかったです。



左上／ UIST に参加する友人たちと釜山の冷麺、ミルミョン。左下／ PhD 受験時にお世話になった先輩たちに近況報告しつつカンジャンケジャン。右下／みんな学会のレセプションに行ってしまったので夫と一緒に海東龍宮寺。

博士課程生活

授業

PH207

Transforming the Food System



上／バークレーから北へ1時間半ドライブして農家さんのところへフィールドトリップ。中／テンダーロインにあるフードバンクでロボットとともに惣菜盛り付け。下／フードバンクでは様々な病気に合わせた食事を管理栄養士考案のレシピで調理して冷凍して配送。ちゃんと美味しい！

ME223

Polymer Engineering

研究のビジョンを考えるにあたってアメリカのフード事情を知らないと良いストーリーを描けないと思って Public Health の授業をとってみました。ほぼ全員アメリカ育ち&ディスカッション中心の授業で、普段の留学生温室ゆるゆるイングリッシュとは大違い、ネイティブ英語に圧倒されました。授業の内容も知らないトピックばかりで、移民の歴史が農業に複雑に絡んでいたりと、大企業のロビー活動で給食がファーストフードに溢れていたり、農地の不動産価値が高まって投資目的で買われてしまったり。分野が違うので前提知識もないし、議論もうまく入れなくて、フィールドトリップの時に若干メンタルがブレイクしかけたましたが、ディナーで隣になった教授から、あなたみたいな人が受講してくれて嬉しい！勇気あるね！と言ってもらえて、なんだか肩の力が抜けて、ディスカッションで自分の意見を言えるようになりました。以前よりも多面的にフードシステムをみられるようになったので自分にとってかなり学びの多い授業でした。

また授業の課題の一つに、地域のボランティアに参加してインタビューするというのがあるって、Sonoma のフードバンクで農作業を手伝ってみたり、サンフランシスコで最恐のテンダーロインのフードバンクで Grocery Box を詰めたり、キッチンで野菜を切りまくったり、ロボットとともに惣菜盛り付けしたり。インタビューしてみるとボランティアを確保するのが一番大変と言われたので辞めづらくなって今学期は週一でボランティアを続けています。謎の肉体労働をしてライフをハードにしていますが、テンダーロインのフードバンク Project Open Hand は病気の人に向けた食事を管理栄養士考案のレシピで調理して冷凍宅配するという面白い取り組みをされていて、管理栄養士さんにインタビューさせてもらって自分の研究に対するフィードバックをもらったりとありがたいコネクションができてきています。単純作業をひたすらやりながら頭を空っぽにしたり、毎週知らない人とランダムな会話をしたりするのも割と好きなので、自分のペースで続けられたらと思います。

もう一つの授業は、軽めと噂の必須科目をラボ同期全員で取りました。軽めと聞いていた割には、個人課題が 10 個&グループ課題 3 個と、別に楽な授業ではなかったです。グループ課題では日用品に使われている樹脂について調べてみたり、ドローンの翼を引張試験で解析してみたり、頼りになる同期と一緒に取り組めて心強かったです。





ちっちゃな車でどこまでも
Nicasio Reservoir



Regenerative Farmingを学ぶ
Sebastopol



焚き火でパエリア
China Camp



ラボ同期のお犬様に
焚き火ステーキ



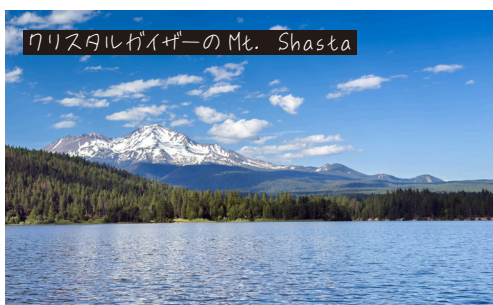
キャンプ飯でサボテンサラダ
Mt. Diablo



Hop landのアメリカンダイナー



ついにヨセミテへ



クリスタルガイザーのMt. Shasta



お友達とわやっり最高！
Manzanita Lake



Santa Cruzのうまビール



コヨーテとともに歩むハイキング



Point Reyesの自然が好き



Muir Woods
バナナメワジモ発見





おわりに

みなさまお気づきかと思いますが、趣味で日々撮影しているリス写真が結構集まったので各ページに散らばせてみました。パークレーの食べ過ぎぽっちゃり Fox Squirrel。スタンフォードの上品な Eastern Gray Squirrel。ヨセミテにいた地中に巣を作る California Ground Squirrel。Muir Woodsで見つけた Chipmunk。どのリスが好きでしたか。アメリカに来るとリスが普通にいて見慣れてしまいましたが、よく観察してみると模様が違って生態が違って性格が違って、写真をとるとその時の表情みたいなものが切り取れて面白いものです。子供の頃はよくリスの絵を描いていたので今こうして間近で観察できるのは幸せなことですね。

今シーズンはキャンプやハイキングなどアウトドアをかなり楽しみましたが日本では大阪から東京と都市部で過ごしてきて自然を求めているのでカリフォルニアの都市と自然の混ざっている感じがしっくりきています。逆に自然しかないとおそらく不便だと文句を言うタイプのめんどくさい人間なので、普段は街で生活しつつ休日は車で一時間もドライブすればすぐに電波がなくなって、日常の喧騒から離れて大自然の中に身を委ねてみる。そんな感じでバランスを保ちながらやっていきたいですね。



まあ呑気なことを言いつつも、次の夏に Qualifying Exam という博論の中間審査のようなものを受けることになりそうなので内心焦っています。これもまた Prelim と同じで 2 回チャンスがあって両方落ちると退学フラグになるやつです。こういうシステム 1 回目落ちるとかなりしんどいので嫌ですが(経験者)、なんとか乗り越えられようそれまでに博論のメインテーマになる論文を出せるようにがんばります。HCI 系の授業でゲスト講義を 2 個担当したらそこで興味を持ってくれた学生たちがプロジェクトに入ってくれることになったのでギアチェンジしてやっていきます。



最後に、本留学を支援してくださっている船井情報科学振興財団の皆様に改めて心より感謝申し上げます。

